



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 カシオ計算機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6952 URL <https://casio.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樫尾 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務統轄部長 (氏名) 高野 晋 TEL 03-5334-4852

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	145,751	0.4	16,662	12.7	15,713	9.2	12,731	14.6
2019年3月期第2四半期	145,116	5.5	14,784	1.0	14,383	5.3	11,112	11.6

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 7,734百万円 (44.2%) 2019年3月期第2四半期 13,848百万円 (21.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	52.12	
2019年3月期第2四半期	45.11	44.23

(注)2020年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	341,725	208,860	61.1
2019年3月期	357,530	211,594	59.2

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 208,860百万円 2019年3月期 211,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		25.00	45.00
2020年3月期		22.50			
2020年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2020年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	4.0	31,500	4.1	31,000	3.7	22,500	1.6	92.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P.8「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	259,020,914 株	2019年3月期	259,020,914 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	16,449,791 株	2019年3月期	12,699,990 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	244,278,970 株	2019年3月期2Q	246,323,960 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、2019年5月14日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。
- 2.決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当上半期における内外経済は、国内では消費増税を控え、個人消費は底堅く推移しましたが、激化する米中貿易摩擦の影響や英国のEU離脱を巡る混乱などにより、景気の減速感が一段と強まり、世界経済の先行き不透明な状況が継続しました。

この環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.4%増の1,457億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが1,266億円、システムが161億円、その他が28億円となりました。

時計は「G-SHOCK」のフルメタル『GMW-B5000』の好調に加え、新製品『GM-5600』などのラインアップ拡大により、グローバルで「G-SHOCK」のメタルが好調に推移しました。また、中国でのプロモーション効果により、Eコマースを中心に「G-SHOCK」の好調が継続しました。「G-SHOCK」以外では、新製品の超薄型モデル「OCEANUS」の『OCW-S5000』や「EDIFICE」の『EQB-1000』など独自の差別化を図った製品が好調に推移しました。楽器は新製品のSlim&Smartモデルの好調継続、システムは電子レジスターの国内軽減税率対応による需要が拡大しましたが、プロジェクターの教育ソリューション（ES）シリーズの浸透遅れにより減収となりました。

損益につきましては、営業利益はコンシューマが207億円、システムが△5億円、その他が1億円、調整額が△36億円で前年同期比12.7%増の166億円となりました。

時計は「G-SHOCK」の好調により、高収益性を維持、楽器は高収益性のSlim&Smartモデルの拡大と構造改革効果により収益体質が改善しました。

また、経常利益は157億円（対前年同期比9.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は127億円（対前年同期比14.6%増）、1株当たり四半期純利益（EPS）は52円12銭と改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末比158億円減少の3,417億円となりました。純資産は、自己株式の取得などにより、前連結会計年度末比27億円減少の2,088億円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.9ポイント増の61.1%に改善されました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは164億円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは4億円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローは183億円の支出となり、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比64億円減少の1,257億円となりました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的かつ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

為替円高の影響により2019年5月14日に公表した2020年3月期の通期連結業績予想の売上高につきましては、3,150億円から3,100億円に修正いたします。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を生かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組みます。

(注) 業績見通しについて

①為替水準は1US\$=108円、1ユーロ=118円を想定しております。

②業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,714	77,168
受取手形及び売掛金	44,141	40,135
有価証券	50,000	36,000
製品	39,061	36,762
仕掛品	5,836	5,202
原材料及び貯蔵品	9,377	8,945
その他	17,043	20,173
貸倒引当金	△556	△504
流動資産合計	238,616	223,881
固定資産		
有形固定資産		
土地	33,564	33,553
その他(純額)	23,241	26,758
有形固定資産合計	56,805	60,311
無形固定資産		
無形固定資産	8,978	8,929
投資その他の資産		
投資有価証券	30,630	26,090
退職給付に係る資産	11,414	11,819
その他	11,153	10,758
貸倒引当金	△66	△63
投資その他の資産合計	53,131	48,604
固定資産合計	118,914	117,844
資産合計	357,530	341,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,522	22,264
短期借入金	232	173
1年内償還予定の新株予約権付社債	10,003	—
未払法人税等	3,584	2,943
製品保証引当金	781	778
事業構造改善引当金	212	208
その他	39,429	37,132
流動負債合計	82,763	63,498
固定負債		
長期借入金	58,988	62,805
事業構造改善引当金	1,020	1,020
退職給付に係る負債	578	567
その他	2,587	4,975
固定負債合計	63,173	69,367
負債合計	145,936	132,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,058	65,042
利益剰余金	111,757	118,948
自己株式	△19,956	△24,868
株主資本合計	205,451	207,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,246	6,274
為替換算調整勘定	△4,178	△6,988
退職給付に係る調整累計額	2,075	1,860
その他の包括利益累計額合計	6,143	1,146
純資産合計	211,594	208,860
負債純資産合計	357,530	341,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	145,116	145,751
売上原価	80,239	82,098
売上総利益	64,877	63,653
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	16,892	16,325
その他	33,201	30,666
販売費及び一般管理費合計	50,093	46,991
営業利益	14,784	16,662
営業外収益		
受取利息	296	400
受取配当金	266	115
その他	102	174
営業外収益合計	664	689
営業外費用		
為替差損	723	1,251
その他	342	387
営業外費用合計	1,065	1,638
経常利益	14,383	15,713
特別利益		
固定資産売却益	4	11
投資有価証券売却益	271	2,993
特別利益合計	275	3,004
特別損失		
固定資産除却損	42	65
競争法関連損失	—	505
役員特別功労金	—	200
特別損失合計	42	770
税金等調整前四半期純利益	14,616	17,947
法人税等	3,504	5,216
四半期純利益	11,112	12,731
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,112	12,731

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	11,112	12,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,805	△1,972
為替換算調整勘定	796	△2,810
退職給付に係る調整額	135	△215
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	2,736	△4,997
四半期包括利益	13,848	7,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,848	7,734
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,616	17,947
減価償却費	4,312	5,547
固定資産除売却損益(△は益)	38	54
投資有価証券売却損益(△は益)	△271	△2,993
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30	△1
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△486	△405
受取利息及び受取配当金	△562	△515
支払利息	136	127
為替差損益(△は益)	△695	△546
売上債権の増減額(△は増加)	3,814	3,177
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,631	1,462
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,809	△2,027
その他	△4,076	△129
小計	5,416	21,698
利息及び配当金の受取額	616	638
利息の支払額	△137	△125
特別退職金の支払額	—	△2,601
法人税等の支払額	△3,226	△3,118
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,669	16,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,342	△168
定期預金の払戻による収入	1,699	170
有形固定資産の取得による支出	△3,986	△2,432
有形固定資産の売却による収入	5	20
無形固定資産の取得による支出	△2,597	△2,293
投資有価証券の取得による支出	△8	△5
投資有価証券の売却及び償還による収入	396	5,190
その他	△121	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,954	428
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5	△60
長期借入れによる収入	—	4,000
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△3	△5,003
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△323	△1,092
配当金の支払額	△7,390	△6,158
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,721	△18,313
現金及び現金同等物に係る換算差額	954	△2,194
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,052	△3,587
現金及び現金同等物の期首残高	134,554	132,208
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△2,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	124,502	125,764

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月3日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が5,000百万円増加しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。なお、利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が3,909百万円増加し、流動負債の「その他」が1,467百万円及び固定負債の「その他」が2,524百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	123,653	17,828	3,635	145,116	—	145,116
(2) セグメント間の内部 売上高	4	73	3,299	3,376	△3,376	—
計	123,657	17,901	6,934	148,492	△3,376	145,116
セグメント利益	18,292	60	206	18,558	△3,774	14,784

(注) 1 セグメント利益の調整額△3,774百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,774百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	126,698	16,185	2,868	145,751	—	145,751
(2) セグメント間の内部 売上高	0	26	3,978	4,004	△4,004	—
計	126,698	16,211	6,846	149,755	△4,004	145,751
セグメント利益 又は損失(△)	20,728	△588	181	20,321	△3,659	16,662

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,659百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,659百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。